

利用についてのQ&A

利用に関する基本のご質問を集めました。
各機能・サービスごとのご質問や、同意書、具体的な入会方法などについて、詳しくはあじさいネット事務局にお尋ねください。

● 誰でも使える？ 患者も自分のカルテが見れる？



「あじさいネット」に入会した医療従事者のみ利用できます。

インターネット接続可能なパソコンに、暗号化のための専用機器を設置することで「あじさいネット」に接続できるようになります。(機器設置費用がかかります)

→ 患者さん自身が接続・閲覧することはできません。

● 利用できる職種は医師だけ？

医師だけでなく、医療従事者であれば入会できます。現在入会されている主な職種は以下の通りです。



- ・医師
- ・歯科医師
- ・薬剤師
- ・看護師
- ・助産師
- ・医療ソーシャルワーカー
- ・理学療法士
- ・保健師
- ・作業療法士
- ・管理栄養士
- ・言語聴覚士
- ・介護支援専門員
- ・介護従事者
- ・連携室事務

その他の職種の方の入会については、あじさいネット事務局までお問い合わせください。

● カルテを勝手に見られないか心配…



医師等が他施設の診療情報を見るためには、患者さん自身が署名した「同意書」を作成し、連携先の病院に提出する必要があります。ご本人の知らないうちに見られることはありませんので安心ください。

加えて、診療情報を見ることができるのは同意書に記名された会員のみとなり(個別同意)、同じ施設内といえど他の職員が見ることはできません。

また、患者さんが診療情報閲覧を取り止めたいと思った時は、患者さん自身が連携先病院に「同意撤回届」を出すことで閲覧利用を即時中止することができます。

なお、利用にあたり患者さんの自己負担はありません。



あじさいネットホームページ

<http://www.ajisai-net.org/>

ご利用・ご入会についてのお問合せ先

あじさいネット事務局

TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110

〒852-8532 長崎市茂里町3番27号 (長崎県医師会内)

特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

ながさきの医療と人をつなぐ



あじさいネット

Regional Health Information Network



「あじさいネット」は、高度に暗号化したネットワークを使った長崎県の地域医療連携システムです。

2004年に大村市でスタートし、現在は県内ほぼ全域から約340医療機関が参加しています。*

* 2017年8月現在。

あじさいネットで 一步先の医療へ。

あじさいネットを使うと、総合病院での診療情報をかかりつけ診療所や在宅医療で活用でき、どの地域でも質の高い医療を受けられます。また複数の機関が診療情報を共有・連携することで、同じような検査や薬が重なることを防ぐことができます。

「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が推進されていく中で、今後ますます「あじさいネット」は欠かせないものとなっていきます。

あじさいネットを利用した その他のシステム

あじさいネットの高品質なセキュリティネットワークを活かし、別団体の運営する医療システムがあじさいネット上で運用されています。

2004年
開始

診療情報の閲覧共有

総合病院の診療情報を、診療所や薬局・訪問看護事業所など複数の医療機関で閲覧・共有できます。これにより、身近な医療機関や在宅療養でも高水準の治療や服薬指導等を受けることができます。あじさいネットの最も基本的な機能です。



2013年
開始

TV会議システム

カメラ・マイクを付けたパソコンや、iPadであじさいネットにログインすれば、TV会議を行えます。会議だけでなく、県内各地を結んでの講演会・研修会中継などにも活用されています。



2013年
開始

セキュアメール

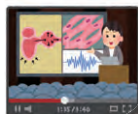
あじさいネット内でのみ送受信できるウェブメールサービスです。高度に暗号化され、会員外に漏れることがないので、患者さんの個人情報等を安全に送ることができます。



2016年
開始

医療関連ビデオ配信

医療従事者の知識・技能向上を目的として行われている研修会や講演会を録画し、動画としてあじさいネット上で公開しています。医療従事者の知識や技術の向上に役立ることが狙いです。



2014年
開始

多職種連携

さまざまな医療機関のさまざまな職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。iPadを使って往診先での記録や情報閲覧ができるので、在宅医療の現場で活用されているほか、専門医とかかりつけ医が連携しながら患者をサポートする「高度病診連携」にも使われています。



2013年
開始

糖尿病疾病管理

糖尿病について、複数の医療機関での外注検査データを自動的に取り込み、データの蓄積・解析を行なうシステムです。病状の適切な管理を容易にし、さらに治療結果のデータを反映することで治療の質を向上させます。



テスト
運用中

検査データ共有

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧でき、グラフ化も可能です。さらに検査結果を、他の診療所や病院と共有することができます。



テスト
運用中

地域連携パス

がんなど、専門的な管理を要する病気について、拠点病院の専門医とかかりつけ医が協力して治療を行うための情報共有ノート「地域連携パス」を電子化し、リアルタイムでの情報共有とデータ管理の簡易化を可能にしました。



2014年
開始

周産期医療支援 ネットワークシステム「すくすく」

(運営:周産期医療支援システム協議会)

妊婦健診から出産後までのデータを記録・管理し、経過や異常の有無等を分かりやすく表示するシステムです。これにより安全な出産と健全な発育の支援をします。また万一の救急搬送時には、搬送先の病院に予めデータを送ることにより、妊婦さんの到着前に詳細な診療経過を把握してもらうことができるので安心です。



2013年
機能UP

離島・救急医療支援システム

(運営:長崎県)

離島地域で救急患者が発生した時に、診療情報や検査画像を国立長崎医療センター等に送り、治療・診断の支援を受けられるシステムです。1990年より開始した「遠隔診断サービス」が、あじさいネットを使って機能強化および画像の高品質化をはかり、現在のシステムになりました。



2013年
開始

高品質遠隔画像診断システム

(運営:NPO法人長崎画像診断センター【長崎大学病院内】)

CTやMRIなどを使った画像診断を高いレベルで行える放射線画像診断の専門医は数が限られ、離島や遠隔地では不足しています。そこで、難しい症例においては撮影された画像を長崎大学病院に送り、専門医が画像診断を行なうシステムが活躍しています。

